

第2回 魚野川水辺プラザのあり方を考える懇談会

説明資料

平成26年3月24日
信濃川河川事務所

（整備に関する御意見）

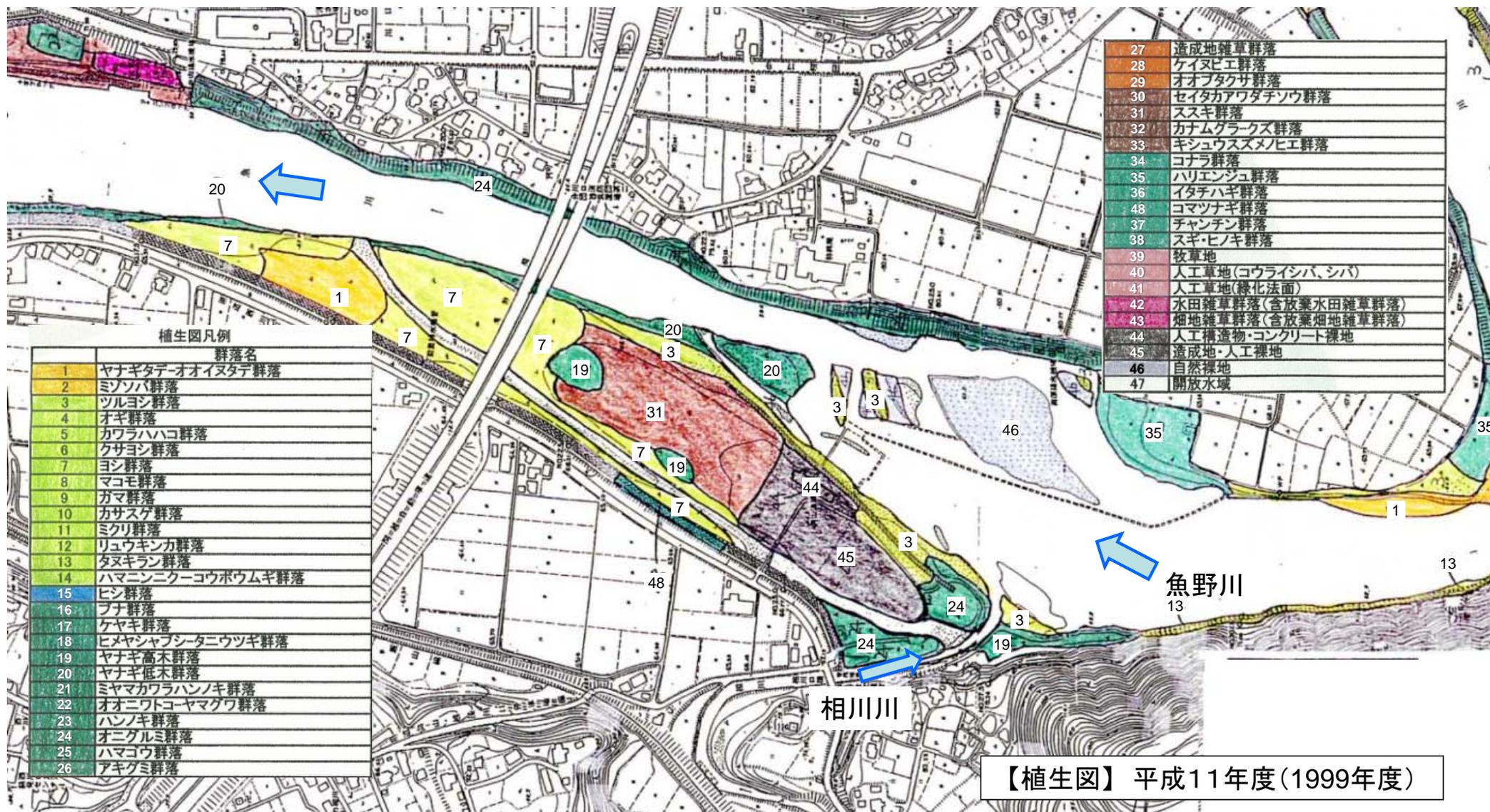
- 大きな出水により大量の土砂が堆積した経緯を踏まえ、土砂移動についてシミュレーションにて確認しながら、河道掘削範囲・形状を検討する。
- 左岸側の高水敷は大きく削ることと、水辺プラザを縮小すること、やなの場所を変えることについてはやむを得ない。
- 相川川は下流に向けた方がよい。ただし、相川川は堤防より少し離して整備する。
- 水辺プラザでは常時水が流れる形としてほしい。
- 水辺プラザでは川に人が入り易い形としてほしい。また、カヌーや魚のつかみどりなどが出来る整備をしてほしい。
- 相川川にも魚類が遡上出来る環境にしてほしい。

（確認事項等）

- 西川口地区の植生状況を確認する。
- 西川口地区の土砂堆積状況と土砂生産源を確認する。
- 相川川合流点形状の変遷を確認する。

- 西川口地区の植生状況 (資料P4～6)
- 西川口地区の土砂堆積状況と土砂生産源 (資料P7～8)
- 相川川合流点形状の変遷 (資料P9～11)

西川口地区においては、H11, 14, 21に植生調査を実施しており、木本類の植生状況は次のとおりとなっている。
【H11調査】 高速道路付近 / 上下流で水際付近にヤナギの低木(20)、上流側の内陸部でヤナギの高木(19)が見られる。
 相川川合流部 / オニグルミ、ヤナギの高木(24, 19)が見られる。(※合流部のヤナギはシロヤナギ)



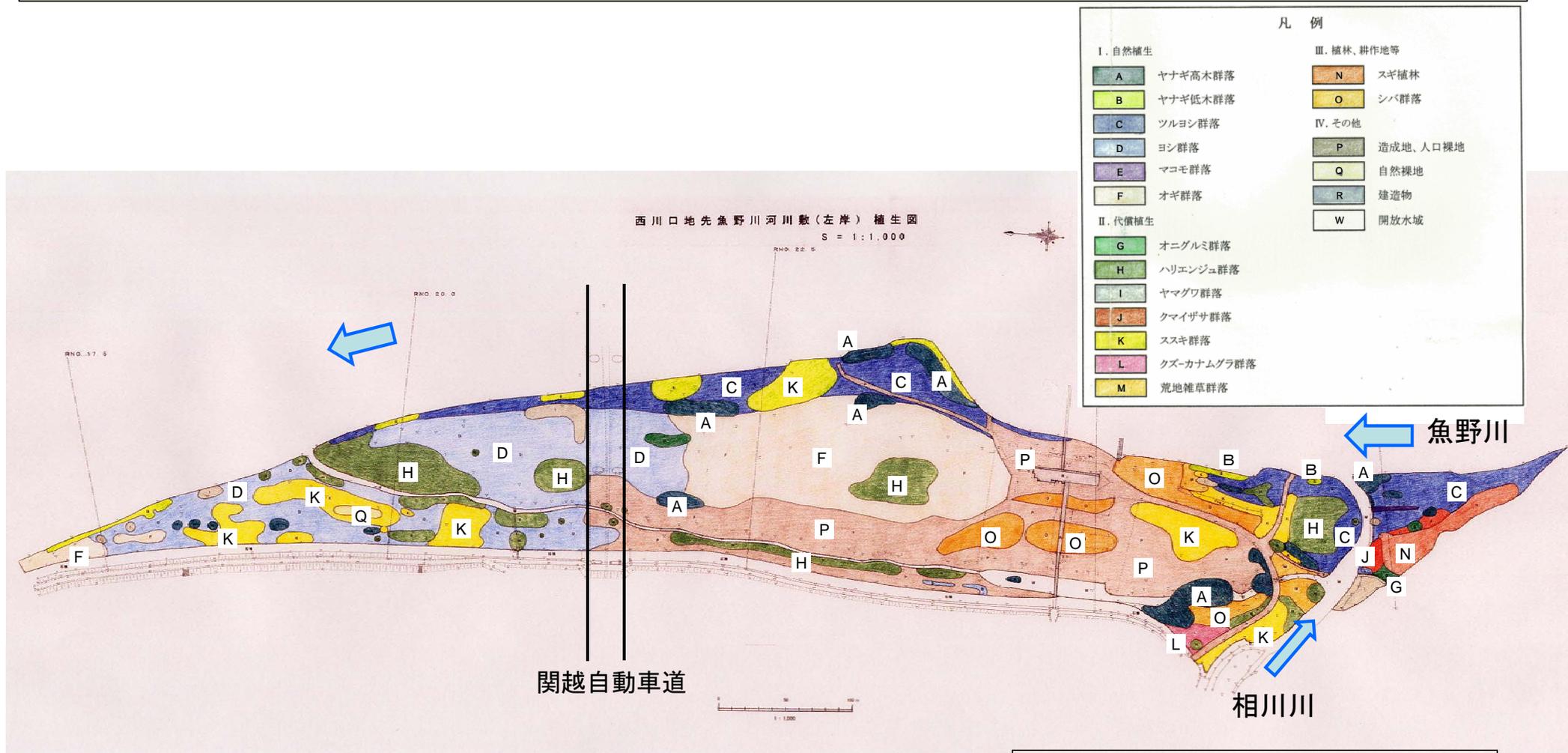
【H14調査】

高速道路付近 / 上下流において、H11調査で記録のないハリエンジュ(H)が見られる。

上流側の水際部で、ヤナギの高木(A)が見られる (H11調査ではヤナギの低木が見られた)。

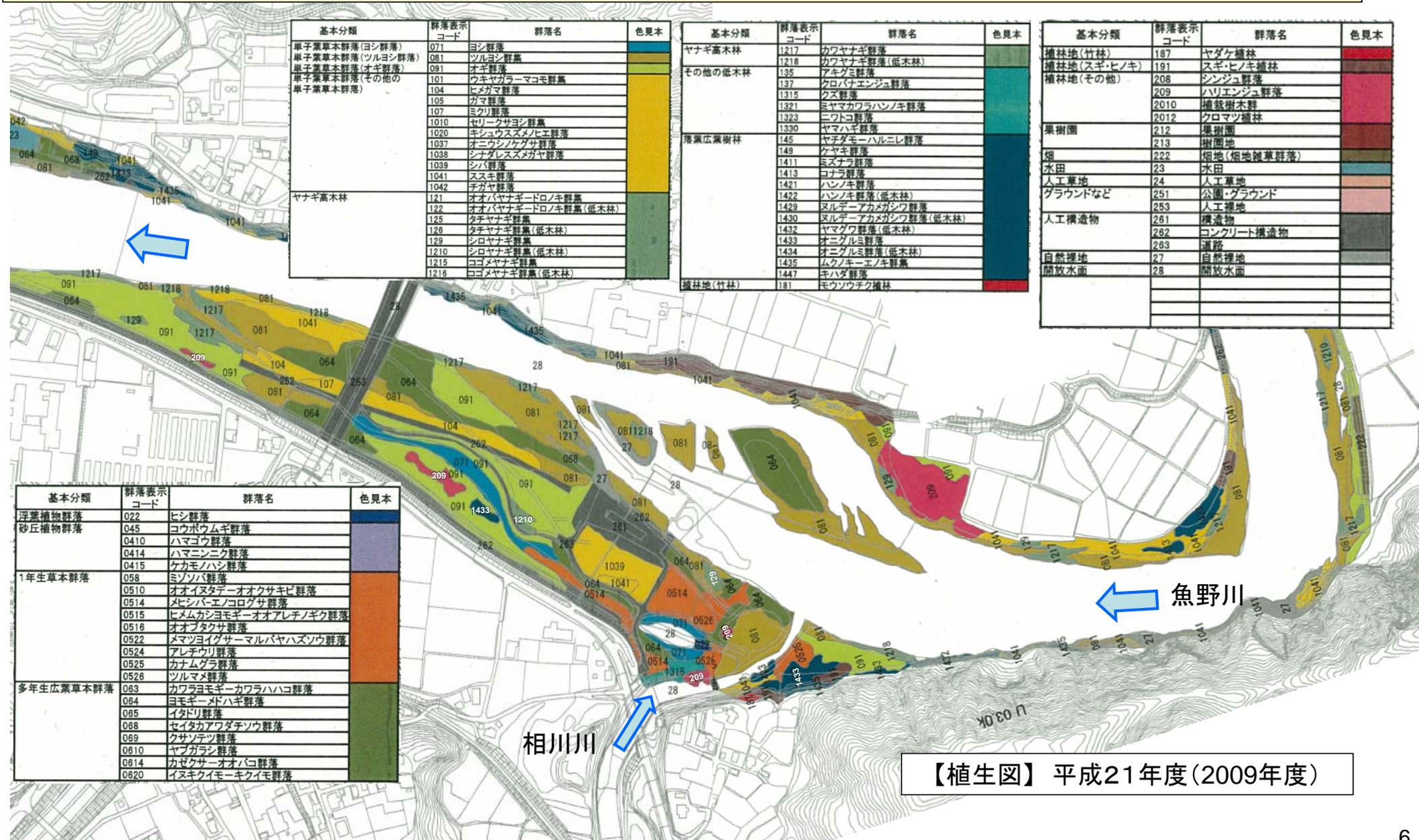
相川川合流部 / ハリエンジュ、オニグルミ、シロヤナギの高木(H, G, A)が見られる。

水際部の一部にヤナギの低木(B)が見られる。(※カワヤナギ・オノエヤナギ・シロヤナギ・タチヤナギ)



【植生図】平成14年度(2002年度)

【H21調査】 高速道路付近 / 上下流で水際部にカワヤナギの低木(1217, 1218)が見られる。
 内陸部では、ハリエンジュ(209)、シロヤナギの低木(1210)のほか、H11, H14調査で記録のないオニグルミの高木(1433)が見られる。
 相川川合流部 / ハリエンジュ、オニグルミ、シロヤナギの高木(209, 1433, 129)が見られる。



【植生図】 平成21年度(2009年度)